

6 病 防 第 5 2 号
令和 6 年 8 月 8 日

関係機関・団体代表者 様
病虫害防除員

福島県病虫害防除所長
(公 印 省 略)

クビアカツヤカミキリに関する注意喚起について (送付)

モモやサクラを加害するクビアカツヤカミキリにつきましては、栃木県や茨城県での発生が確認されており、今後の県内への侵入を警戒しております。

当防除所 (福島県農業総合センター) ホームページに掲載しておりますチラシにつきまして、別添のとおり内容を更新しましたので、ご活用ください。

また、公益社団法人福島県植物防疫協会と連携し、本年7月に子供向けのポスターを作成し、県内の各小学校や児童クラブなどに約600部を配布いたしました。本ポスターの電子データにつきましても、併せて送付させていただきますので、ご参考ください。

注意！！

令和6年8月
福島県自然保護課
福島県環境保全農業課
福島県農業総合センター

クビアカツヤカミキリ

見つけたら大至急ご連絡を！！

- 本種は本県未確認（**隣県での発生あり**）の**特定外来生物**で、果樹類やサクラでの被害が懸念されています！



クビアカツヤカミキリ成虫
(28~37mm)



被害の様子

排出されたかりんとう状のフラス



チャイロホソヒラタカミキリ
(8~15mm、クビアカより小)

(写真提供：栃木県)

(写真提供 福島県農業総合センター果樹研究所)

<特徴>

- 成虫は28~37mmで**胸部が鮮やかな赤色**、頭部・腹部は黒色でツヤがある（間違いやすいチャイロホソヒラタカミキリとは、首の形、大きさで区別）。幼虫は樹の中で2~3年過ごし、成虫は6月~8月にかけて発生する。
- モモの害虫**で発生地では**壊滅的な被害**が発生している。他にウメ、スモモ、オウトウ、サクラなども加害する。隣県では、直売・自家消費目的の小規模な果樹植栽地（スモモやウメ）での初被害が確認される事例がある。
- 樹体内部を食害し、**大量のフラス**(木くずと糞が混じったもの)を排出する。フラスの特徴は**かりんとう状**である。

確認年	確認地域（14都府県）
2012年	愛知県
2013年	埼玉県
2015年	群馬県、東京都、大阪府、徳島県
2016年	栃木県
2017年	和歌山県
2019年	奈良県、茨城県* 三重県*
2021年	神奈川県*
2022年	兵庫県
2024年	京都府*

(2024年8月現在、*は農作物被害がないため特殊報発表なし)

★本種を見つけた場合や疑われる場合は、以下の連絡先までご連絡ください。なお、「飼育」や「生きたままの運搬」は禁止されています。

福島県自然保護課(024-521-7210)

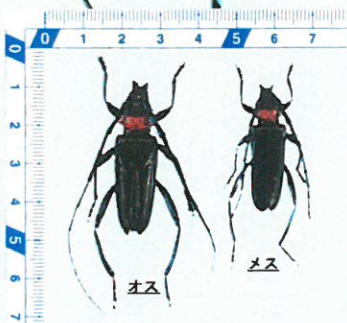
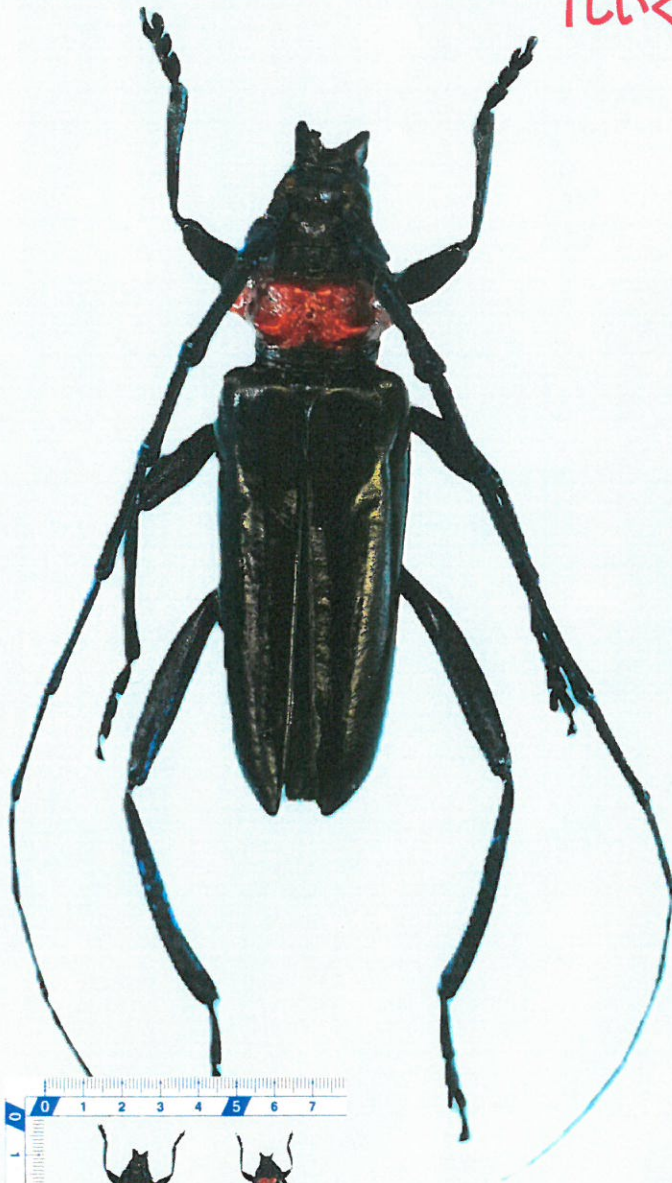
最寄りの農林事務所農業振興普及部・農業普及所

農業総合センター安全農業推進部発生予察課 (024-958-1709)

みつけたらおしえてね！

・外国から入ってきたクビアカツヤカミキリです※

「しいく」や「生きたままのうんぱん」は罰せられます



じっさいの大きさ

いそうな場所とひがい



← モモの幹

モモの枝 →



← フンときくず
が混ざったもの
(フラス)



← サクラ

※詳細はこちらから→



連絡先 福島県庁

環境保全農業課
自然保護課

☎ 024-521-7342

☎ 024-521-7210